

●エゼキエル書34章

「まことに、神である主はこう仰せられる。見よ。わたしは自分でわたしの羊を捜し出し、これの世話をする。牧者が昼間、散らされていた自分の羊の中において、その群れの世話をするように、わたしはわたしの羊を、雲と暗やみの日に散らされたすべての所から救い出して、世話をする。わたしは国々の民の中から彼らを連れ出し、国々から彼らを集め、彼らを彼らの地に連れて行き、イスラエルの山々や谷川のほとり、またその国のうちの人の住むすべての所で彼らを養う。わたしは良い牧場で彼らを養い、イスラエルの高い山々が彼らのおりとなる。彼らはその良いおりに伏し、イスラエルの山々の肥えた牧場で草をはむ。わたしがわたしの羊を飼い、わたしが彼らをいこわせる。--神である主の御告げ--」「わたしは、彼らを牧するひとりの牧者、わたしのしもべダビデを起こす。彼は彼らを養い、彼らの牧者となる。主であるわたしが彼らの神となり、わたしのしもべダビデはあなたがたの間で君主となる。主であるわたしがこう告げる。」(11-15, 23-24)

○良い牧者であるイエス様：四つの姿

1. 羊のために _____ (11-13, 15b, 17, 18a)

※1サムエル記17:34-35

「ダビデはサウルに言った。「しもべは、父のために羊の群れを飼っています。獅子や、熊が来て、群れの羊を取って行くと、私はそのあとを追って出て、それを殺し、その口から羊を救い出します。それが私に襲いかかるときは、そのひげをつかんで打ち殺しています。」

「盗人や強盗がやって来るとき、忠実な羊飼いは、自分の群れを守るために、しばしば命がけで立ち向かわなければなりません。私は、その戦いの中で実際に命を落とした例をいくつか知っています。昨年春、ティベリアとタボルの間で、ある貧しい忠実な羊飼いが、逃げるところか三人のベドウィン(アラブ系の遊牧民)の強盗と戦い、ついには彼らの短剣で切り刻まれ、自分が守っていた羊たちの中で息絶えたのです。」(ウィリアム・トムソン)

1) _____

※1ペテロ2:22-25

「キリストは罪を犯したことがなく、その口に何の偽りも見いだされませんでした。ののしられても、ののしり返さず、苦しめられても、おどすことをせず、正しくさばかれる方にお任せになりました。そして自分から十字架の上で、私たちの罪をその身に負われました。それは、私たちが罪を離れ、義のために生きるためです。キリストの打ち傷のゆえに、あなたがたは、いやされたのです。あなたがたは、羊のようにさまよっていましたが、今は、自分のたましいの牧者であり監督者である方のもとに帰ったのです。」

2) _____

※1ヨハネ3:16; 2コリント5:21

「キリストは、私たちのために、ご自分のいのちをお捨てになりました。それによって私たちに愛がわかったのです。…」

「神は、罪を知らない方(イエス様)を、私たちの代わりに罪とされました。それは、私たちが、この方にあつて、神の義となるためです。」

2. 羊を _____ (14-15a)

3. 羊を_____ (16)

※ヨハネ1:9

「すべての人を照らすそのまことの光が世に来ようとしていた。」

※ヨハネ4:42

「もう私たちは、あなたが話したことによって信じているのではありません。自分で聞いて、この方がほんとうに世の救い主だと知っているのです。」

※エペソ2:14-16

「キリストこそ私たちの平和であり、二つのものを一つにし、隔ての壁を打ちこわし、ご自分の肉において、敵意を廃棄された方です。敵意とは、さまざまの規定から成り立っている戒めの律法なのです。このことは、二つのものをご自身において新しいひとりの人に造り上げて、平和を実現するためであり、また、両者を一つのからだとして、十字架によって神と和解させるためなのです。敵意は十字架によって葬り去られました。」

※ガラテヤ3:28

「ユダヤ人もギリシヤ人もなく、奴隷も自由人もなく、男子も女子もありません。なぜなら、あなたがたはみな、キリスト・イエスにあって、一つだからです。」

4. 羊を_____ (18b)

※詩篇23:4

「たとい、死の陰の谷を歩くことがあっても、私はわざわいを恐れませんが、あなたが私とともにおられますから。あなたのむちとあなたの杖、それが私の慰めです。」